

言語障害児懇談会,新潟市,2000年11月18日.

7)磯野信策,荒井晶子,寺尾恵美子,鈴木真由美:10歳時に開鼻声を発症した1例.第87回新潟言語障害児懇談会,新潟市,2000年11月18日.

【その他】

1)高木律男:唇顎口蓋裂母親教室.新潟市,2000年5月23日.

2)高木律男:平成12年度歯科臨床研修医セミナー(公開):顎関節症への外科的アプローチ.新潟市,2000年6月21日.

3)飯田明彦:口唇口蓋裂.長岡赤十字病院看護学校講義.長岡市,2000年9月5日.

4)高木律男:有病者の歯科治療(三条市歯科医師会・歯知(はち)の会学術講演).三条市,2000年9月7日.

5)星名秀行:平成12年度歯科臨床研修医セミナー 口腔癌の診断と治療.新潟市(新潟大学歯学部),2000年9月27日.

6)小野和宏:新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班 第12回母親教室.新潟市(新潟大学歯学部),2000年10月17日.

7)高木律男:歯学祭学術講演会:顎関節症って何?.新潟市,2000年10月21日.

8)高木律男:佐渡歯科医師会講演会:顎関節症への地域での対応.両津市,2000年10月28日.

9)武藤祐一,笠井直栄:歯科救急処置について.上越市歯科医師会館,2000年11月7日.

10)小野和宏:平成12年度歯科臨床研修医セミナー 口唇裂口蓋裂の病態と治療.新潟市(新潟大学歯学部),2000年12月27日.

11)深澤肇:歯槽膿漏今昔物語 秋田しんせい農業協同組合広報誌38;18,2000.

歯科補綴学第一講座

【論文】

1)Yamada K, Hanada K, Sulutana MH, Kohno S and Yamada Y: Relationship between frontal facial morphology and occlusal force in orthodontic patients with temporomandibular disorder, J Oral Rehabil 27(5) 413-421, 2000.

2)河野正司,岩片信吾:歯の喪失の予防 咬合の保全・確保,少数歯の残存と保全,日本歯科医学会雑誌19: 31-37, 2000.

3)渡辺誠,道脇幸博,河野正司,松久保隆,赤坂庸子,道健一,岩片信吾,眞木吉信,杉原直樹,平井義人,神部芳則,葉真寺美佐子,高橋禮子,佐々木啓一:高齢者の口腔ケアと口腔機能に関する総合研究,日

本歯科医学会雑誌 19: 42-53, 2000.

4)須田英明,砂川光宏,堀内博,浅井康宏,河野正司,戸田忠夫,井上清,久保吉廣ほか:感染症患者の診療に関する総合的研究,日本歯科医学会雑誌19: 64-74, 2000.

5)河野正司:下顎位を知る,群馬県歯科医学会雑誌4: 57-60, 2000.

6)Igarashi N, Yamamura K, Yamada Y, Kohno S: Head movements and neck muscle activities associated with the jaw movement during mastication in the rabbit, Brain Research 871(1) 151-155, 2000.

7)亀田紀夫,河野正司,安藤栄吾:咬合治療と同時に観察された喘息症状の改善例,新潟歯学会誌 30(1) 49-55, 2000.

8)山田一尋,小栗由充,昼間康明,花田晃治,澤田宏二,河野正司,林孝文,伊藤壽介:顎変形症患者における下顎頭骨形態,関節円板転位がタッピング運動に及ぼす影響,日本顎関節学会雑誌 12(1) 88-97, 2000.

9)河野世佳,河野正司:下顎タッピング運動時の頭部平衡運動の存在について(最近のトピックス),新潟歯学会誌 30(1) 69-70, 2000.

10)五十嵐直子:ウサギの咀嚼時に観察される下顎運動に協調した頭部運動と顎筋活動(学位研究紹介),新潟歯学会誌 30(1) 79-80, 2000.

11)金田恒,河野正司:咀嚼における片側遊離端義歯装着の意義(学位研究紹介),新潟歯学会誌 30(1)85-86, 2000.

12)Tanaka M, Ejiri S, Kohno S, Ozawa H: Region-specific bone mass changes in rat mandibular condyle following ovariectomy, J Dent Res 79(11) 1907-1913, 2000.

13)加藤一誠,河野正司,新井映子,林豊彦,山田好秋: Videofluorography の支援による有床義歯補綴治療,補綴誌 44(5) 625-632, 2000.

14)河野世佳,河野正司:下顎タッピング運動時の頭部平衡運動の存在について,補綴誌 44(5) 696-708, 2000.

15)鈴木政弘,河野正司:当科における顎関節症治療の臨床的検討,新潟歯学会誌30(2) 19-24, 2000.

16)鈴木政弘,岩片信吾,河野正司:慢性疼痛を有する変形性顎関節症に補綴学的な咬合安定化が有効であった1例(症例報告),新潟歯学会誌 30(2) 43-48, 2000.

17)豊岡英一,江尻貞一,河野正司,小澤英浩:歯の挺出に伴う歯槽骨変化とエストロゲン欠乏の影響に関する組織学的・組織形態学的研究(学位研究紹介),新潟歯学会誌30(2):77-78, 2000.

18)河野正司:咬合の異常とは 診査・診断はどこまで可能になったか 顎機能障害症例から学ぶ,日本歯科医学会雑誌 20: 108-112, 2001.

- 19) Kohno S, Matsuyama T, Medina R: Functional-rhythmical coupling of head and mandibular movements, J Oral Rehabil 28(2) 161-167, 2001.
- 20) Kohno S, Kohno T, Medina R: Rotational head motion concurrent to rhythmical mandibular opening movements, J Oral Rehabil 28(in press) 2001.

【著書】

- 1) 河野正司, 小林 博 共著, 岡田正彦 編著: 「生体計測の機器とシステム」, 日本エム・イー学会 202-208, 2000.
- 2) 河野正司, 荒井良明: 検査値を見る. 読む. 歯科医師が知っておきたい検査の全て 第2章 5 顎関節症, 佐藤多鶴子, 東理十三雄, 日澤修二編, デンタルダイヤモンド社, 1-239, 分担: 158-159, 2000.
- 3) 河野正司, 木戸寿明: . 咬頭嵌合位の後方偏位と顎関節部の疼痛, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 96-105, 2000.
- 4) 野村修一, 紋谷光徳, 河野正司: 咬頭嵌合位 - 最後方咬合位間距離と顎関節症状との関連, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 106-112, 2000.
- 5) 小林 博, 土田幸弘, 河野正司, 佐藤康弘: 咬合と顎関節部の運動機能, 特に胸鎖乳突筋と咬合, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 130-134, 2000.
- 6) 関本智信, 河野正司: 咬頭嵌合位の後方偏位と噛みしめ時の胸鎖乳突筋の活動, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 135-138, 2000.
- 7) 加茂剛介, 野村修一, 河野正司, 紋谷光徳: 間欠的ロック症例におけるロック時とアンロック時の下顎運動分析, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 158-165, 2000.
- 8) 山田一尋, 福井忠雄, 花田晃治, 河野正司: 矯正治療に伴う下顎頭運動の変化, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 166-174, 2000.
- 9) 山城秀樹, 河野正司, 前田健康: ラット下顎骨を後方偏位させた際の下顎頭周囲における神経線維の変化について, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 221-230, 2000.
- 10) 荒井良明, 河野正司: ガイドの位置要素の変化が顎頭運動に及ぼす影響について, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集4 咬頭嵌合位の後方偏位と顎口腔系および側頸部の疼痛, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 239-246, 2000.
- 11) 河野正司: はじめに, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集5 咬合治療と全身的健康状態, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 261-262, 2000.
- 12) 河野正司, 河野世佳: 下顎機能運動に伴う頭部運動と顎機能障害について, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集5 咬合治療と全身的健康状態, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 263-271, 2000.
- 13) 河野正司: 討論報告, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集5 咬合治療と全身的健康状態, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 315-319, 2000.
- 14) 山田一尋, スルタナ ハビバ, 花田晃治, 河野正司, 安藤雄一: 高齢者における下顎骨下縁皮質骨の厚さと全身骨量の関連 8020データバンク資料から, 咬合状態に起因する多臓器の異常, 特集7 口腔と骨, 厚生科学研究「口腔保健と全身的健康状態の関係」運営協議会(座長: 小林修平)編, 財団法人口腔保健協会, 分担: 350-354, 2000.
- 15) 金田 恒: 唾液はえらい(コラム), おとなのための歯と口の健康づくり, 医歯薬出版, 分担: 96, 2000.
- 16) 河野正司: QOLに貢献するための咬合治療の基本とその実践, 「歯科医学と健康の創造」歯界展望別冊, 医歯薬出版, 分担: 151-152, 2001.

【商業誌】

- 1) 河野正司, 澤田宏二, 加藤一誠: 現代日本人の天然歯を基準とした新しい硬質レジン人工歯, 補綴臨床33(3) 308-315, 2000.
- 2) 澤田宏二, 河野正司: 新しいエビデンスを基準とする硬質レジン人工歯, 補綴臨床別冊: 114-117, 2000.
- 3) 澤田宏二, 河野正司: 新しい人工歯「サーパス前歯」と臨床応用, G C サークル 94: 12-16, 2000.
- 4) 岩片信吾, 河野正司: 顎関節症のスプリント療法, D E 134: 23-25, 2000.
- 5) 河野正司, 長谷川 明, 日野浦 光(司会): 現代日本人に合った人工歯とは何か 新しい人工歯「サーパス」について語る, G C サークル 96: 6-11, 2001.
- 6) 澤田宏二, 河野正司: ジーシー「サーパス白歯」について 上, 日本歯科評論 61(3):101-104, 2001.
- 7) 河野正司, 澤田宏二: ジーシー「サーパス白歯」について 下, 日本歯科評論 61(4):101-104, 2001.

【研究成果報告書】

- 1) 河野正司, 小澤英浩, 江尻貞一, 林 豊彦, 小林博, 池田圭介, 金田 恒: 加齢または閉経後に生じる顎骨粗鬆化と咀嚼動態の関連に関する形態学・機能学複合研究, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(A)(2), 課題番号12307046, 2000.
- 2) 小林 博, 河野正司, 前田健康, 山田好秋: 必須微量元素を表面にコーティングしたチタンインプラントを用いた神経線維誘導, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2), 課題番号12470416, 2000.
- 3) 坂東永一, 桑原洋助, 河野正司, 藤村哲也, 中野雅徳, 竹内久裕, 郡 元治, 山内英嗣: 顎口腔機能診断のためのデータベース構築に関する研究, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(1), 課題番号12470422, 2000.
- 4) 河野正司, 小林 博, 荒井良明, 池田圭介, 五十嵐直子: 下顎運動時に観察され頭部平衡運動を指標とした顎機能評価法に関する研究, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2), 課題番号12557167, 2000.
- 5) 野村章子, 河野正司, 野村修一, 山田好秋, 高橋肇, 五十嵐敦子: 高齢者の摂食機能を賦活化するためのヘルスケア食品の開発と応用, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2), 課題番号12557168, 2000.
- 6) 加藤一誠, 河野正司, 林 豊彦, 山田好秋: 咀嚼・嚥下障害患者の舌運動の解析, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(C)(2), 課題番号12671877, 2000.
- 7) 澤田宏二: 大白歯ガイドの有害性 - 開咬症例に新

たに設定した前歯部ガイドが顎関節に与える影響 - , 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号12771171, 2000.

- 8) 池田圭介: 咬合機能による交感神経系への反射性調節機構の解明, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号12771172, 2000.
 - 9) 五十嵐直子: 下顎運動に協調する頭部運動の制御機構に関する研究, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号12771173, 2000.
 - 10) 荒井良明: 顎関節のゆるみの定量的評価と顎関節内障との関係, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号12771174, 2000.
 - 11) 金田 恒: 片側遊離端義歯装着の意義, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号12771175, 2000.
 - 12) 河野正司, 山田好秋, 池田圭介: 咀嚼から嚥下までの機能分析による義歯床形態の定量的評価, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 萌芽的研究, 課題番号12877312, 2000.
 - 13) 野村章子, 河野正司, 五十嵐敦子: 唾液量・食品咬断率・咀嚼スコアからみた高齢者の咀嚼能力に及ぼす義歯装着の効果 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(C)(2), 課題番号11671927, 2000.
 - 14) 櫻井直樹, 林 孝文, 林 豊彦, 河野正司: 顎関節症患者の咬合異常と顎関節部MR画像およびヘリカルCT画像の關係に関する経時的研究, 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(C)(2) 課題番号11671926, 2000.
 - 15) 岩片信吾: 高齢者の顎関節症状 - 咬合支持・咬合圧と症状発現との関係 - , 平成12年度文部省科学研究費補助金研究 奨励研究(A), 課題番号11771215, 2000.
- 【シンポジウム】
- 1) 荒井良明: 顎機能測定装置から何が解るのか, シンポジウム「歯科臨床における咬合の現状」, 第22回与五沢矯正研究会, 東京, 2000-4-18, 同研究会抄録: 7, 2000.
 - 2) 河野正司, 井上 宏, 森本俊文, 稲葉 繁, 植田耕一郎: シンポジウム「咬合・咀嚼機能が快適な生活(QOL)に果たす役割」 QOLに貢献するための咬合治療の基本とその実践 , 第19回日本歯科医学会総会, 東京, 2000-5-29, 日本歯科医師会雑誌 52(11): 62-63, 2000.
 - 3) 河野正司(座長), 大山喬史, 川添堯彬, 岩久正明: シンポジウム「卒前臨床実習の検証」, 第103回日本補綴歯科学会, 大宮, 2000-6-9, 補綴誌44(103回特別号) 26-27, 2000.
 - 4) Kohno S: The hospital-practitioner linkage: The

close cooperation in regional dental service between the university hospital and general practitioners in Niigata city Japan, Japan-Russia Medical Symposium "Amur-2000" Modern Problems of Stomatology, Blagoveshensk, Russia, 2000-9-20 ~ 23, 2000.

5) 河野正司: 顎機能の加齢変化, シンポジウム「加齢による口腔機能の変化はどこにどのように現れるか」, 第104回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2000-11-10-11, 補綴誌44(104回特別号) 29, 2000.

6) 河野正司(座長), 森 茂美, 渡辺 誠, 丸山剛郎: シンポジウム「姿勢と咬合」, 第10回全身咬合学会学術大会, 仙台, 2000-11-26, 同学会プログラム・抄録集: 16-19, 2000.

【受賞】

1) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: 第103回日本補綴歯科学会学術大会 課題口演コンペティション 優秀賞 「マウス咀嚼顎運動の特徴」, 第103回日本補綴歯科学会学術大会, 大宮, 2000-6-10, 2000.

2) 湊 修, 河野正司, 飛田 滋: 第104回日本補綴歯科学会学術大会 課題口演コンペティション 優秀賞 「下顎片側遊離端義歯における浮き上がり時の回転軸と鉤間線の関係」, 大阪, 2000-11-11, 2000.

【学会発表】

1) Medina R, Okayasu I, Kohno S, Kobayashi H, MD M Rahman: TCMS-evoked simultaneous responses in the sternocleidomastoid and masseter, 78th General session of IADR, Washington DC, 2000-4-5 ~ 8, J Dent Res 79(Special Issue) 339, 2000.

2) 田中 礼, 高木律男, 鍛冶昌孝, 福田純一, 野村裕行, 八巻正樹, 野村章子: 上下顎移動術を施行した部分無歯症の一例, 第10回日本顎変形症学会, 大津, 2000-4-20 ~ 21, 同学会プログラム・抄録集: 98, 2000.

3) 関本智信, 荒井良明, 河野正司, 澤田宏二, 平野秀利, 林 豊彦, 山田一穂: ガイド役を果たす犬歯の脈動の観察, 第21回日本顎口腔機能学会, 東京, 2000-4-22, 同プログラム・事前抄録集: 24-25, 2000.

4) 江尻貞一, 田中みか子, 宮林信次, 馬場則男, 河野正司, 小澤英浩: マイクロCT画像を用いたサル顎骨の構造解析, 日本電子顕微鏡学会 第56回学術講演会, 東京, 2000-5-17, 電子顕微鏡 35(S1) 258, 2000.

5) 土田 淳, 林 豊彦, 加藤一誠: 歯科用CAD"Vocs-1B"のための咬合面設計支援システム, 第39回日本工ム・イー学会, 東京, 2000-5-18, 医用電子と生体工学, 日本ME学会誌38(特別号) 297, 2000.

6) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: マウス咀嚼顎運動の特徴, 第103回日本補綴歯科学会学術大会,

大宮, 2000-6-10, 補綴誌44(103回特別号) 99, 2000.

7) 飯田明彦, 小野和宏, 今井信行, 高木律男, 濱本宜興, 小林正治, 朝日藤寿一, 毛利 環, 田中みか子, 櫻井直樹, 野村章子, 清水 光: 歯牙移植, 歯科インプラントを応用した顎裂部の咬合再建, 第24回日本口蓋裂学会総会学術集会, 東京, 2000-6-12, 日口蓋誌25(2) 94, 2000.

8) 江尻貞一, 田中みか子, 豊岡英一, 角崎英志, 福崎好一郎, 宮嶋宏彰, 宮林信次, 馬場則男, 河野正司, 小澤英浩: 卵巣摘出によるサル顎骨の構造変化 μ CTを用いた2次元・3次元解析, 第20回日本骨形態計測学会, 長崎, 2000-6-24, 日骨形態誌10(1) 39, 2000.

9) 田中みか子, 江尻貞一, 石田陽子, 野中希一, 角崎英志, 福崎好一郎, 宮嶋宏彰, 河野正司, 小澤英浩: 卵巣摘出サルを用いた下顎骨と腰椎の骨形態計測学的関連性に関する検討, 第20回日本骨形態計測学会, 長崎, 2000-6-24, 日骨形態誌10(1) 40, 2000.

10) 福井忠雄, 森田修一, 花田晃治, 荒井良明, 澤田宏二, 河野正司: 歯のガイドの修正を行った閉口障害症例, 第13回日本顎関節学会総会・学術大会, 福岡, 2000-6-29, 同学会プログラム・抄録集: 94, 2000.

11) 鈴木政弘, 岩片信吾, 河野正司: 慢性的な疼痛を有する変形性顎関節症に補綴的な咬合安定化が有効であった1例, 第13回日本顎関節学会総会・学術大会, 福岡, 2000-6-29, 同学会プログラム・抄録集: 94, 2000.

12) 櫻井直樹, 河野正司, 小林富貴子, 林 孝文, 伊藤壽介, 鈴木政弘: 顎関節症患者の前方ガイド所見とMR画像所見の関連について, 第13回日本顎関節学会総会・学術大会, 福岡, 2000-6-29, 同学会プログラム・抄録集: 102, 2000.

13) 荒井良明, 澤田宏二, 福井忠雄, 河野正司: 矯正治療による歯のガイドの修正により治癒した閉口障害症例の考察, 日本顎口腔機能学会 第22回学術大会, 札幌, 2000-7-8, 同学会抄録集: 14-15, 2000.

14) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: マウス咀嚼時における下顎運動と咀嚼筋活動, 平成12年新潟歯学会 第1回例会, 新潟, 2000-7-8, 同学会プログラム: 12, 2000.

15) 湊 修, 河野正司, 飛田 滋: 下顎片側遊離端義歯の浮き上がり時における回転軸の存在, 平成12年新潟歯学会 第1回例会, 新潟, 2000-7-8, 同学会プログラム: 7, 2000.

16) 関本智信, 荒井良明, 河野正司, 澤田宏二, 平野秀利, 山田一穂: ガイド役を果たす犬歯の脈動の観察, 平成12年新潟歯学会 第1回例会, 新潟, 2000-7-8, 同学会プログラム: 14, 2000.

17) 野村章子, 大瀧直子, 新井映子, 山田好秋, 五十嵐

- 敦子, 野村修一, 河野正司, 高橋 肇: 産学連携による口腔機能改善用食品の開発, 平成12年新潟歯学会 第1回例会, 新潟, 2000-7-8, 同学会プログラム: 15, 2000.
- 18) Sawada K, Arai Y, Kohno S, Fukui T, Medina R, Sekimoto T, MD M Rahman: Analysis of jaw movements of chronic condylar dislocation by restoring anterior guidance, 24th Annual Conference European Prosthodontic Association(EPA) Groningen, 2000-8-24, Prosthodontics in the New Era: 79, 2000.
- 19) Sekimoto T, Arai Y, Kohno S, Sawada K, Hirano H, Yamada K, Rahman MD. M: Periodontal pulsation of the canine tooth which works as anterior guidance, 24th Annual Conference European Prosthodontic Association (EPA) Groningen, 2000-8-24, Prosthodontics in the New Era: 79, 2000.
- 20) 関本 智信, 平野秀利, 小林 博, 河野正司, 林豊彦: ヒト犬歯脈動の咬みしめによる変化の計測, 第20回日本ME学会 甲信越支部大会, 2000-8-26, 長野, 同学会プログラム: 6, 2000.
- 21) 湊 修, 河野正司, 飛田 滋: 下顎片側遊離端義歯における間接支台装置形態の違いが浮き上がり及び影響, 日本補綴歯科学会関越支部, 新潟, 2000-9-10, 同学術大会抄録集: 4, 2000.
- 22) 中嶋新一, 伊藤健一, 五十嵐智人, 林 豊彦, 小林博: 二次元型顎運動シミュレータ(JSN/S2) 顎関節負荷を最小化する咀嚼筋群の協調運動制御, 第18回日本ロボット学会学術講演会, 2000-9-12~14, 同学会プログラム: 583-584, 2000.
- 23) Andoh E, Kohno S, Nozawa-Inoue K, Maeda T: Expression of heat shock protein 25(Hsp25) immunoreactivity in the synovial membrane of mouse temporomandibular joint, XV International Symposium on Morphological Sciences, Kyoto, 2000-9-18~21, XV International Symposium on Morphological Sciences Program & Abstracts: 112, 2000.
- 24) 安藤栄吾, 河野正司, 野澤一井上佳代子, 前田健康: 滑膜における低分子熱ショック蛋白HSP25の発現に関する免疫組織化学的研究, 第42回歯科基礎医学会, 吹田, 2000-9-30~10-1, 歯科基礎誌 42(5) 401, 2000.
- 25) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: マウス咀嚼時における下顎運動と咀嚼筋活動, 第42回歯科基礎医学会, 吹田, 2000-9-30~10-1, 歯科基礎誌 42(5) 433, 2000.
- 26) 江尻貞一, 田中みか子, 河野正司, 小澤英浩: エストロゲン欠乏によるサル顎骨の構造変化 マイクロCTを用いた解析, 第42回歯科基礎医学会, 吹田, 2000-9-30~10-1, 歯科基礎誌 42(5) 449, 2000.
- 27) 川本真一郎, 江尻貞一, 田中みか子, 長岡英一, 小澤英浩: PTH持続投与によるラット下顎骨の組織変化, 第42回歯科基礎医学会, 2000-9-30~10-1, 吹田, 歯科基礎誌 42(5) 449, 2000.
- 28) 鈴木政弘, 岩片信吾, 河野正司: 当治療部における顎関節症治療の臨床的検討, 第5回日本頭蓋下顎傷害学会学術大会, 2000-10-1, 新潟, 同学会プログラム・抄録集: 17, 2000.
- 29) 櫻井直樹, 河野正司, 小林富貴子, 林 孝文, 伊藤壽介, 鈴木政弘: 顎関節症患者の前方ガイドに関する研究, 第5回日本頭蓋下顎傷害学会学術大会, 2000-10-1, 新潟, 同学会プログラム・抄録集: 18, 2000.
- 30) 鈴木政弘, 河野正司: 当治療部における顎関節症治療の臨床的検討, 平成12年新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 2000-11-11, 同学会プログラム: 26, 2000.
- 31) 田澤興平, 星 和人, 川本真一郎, 田中みか子, 江尻貞一, 小澤英浩: 骨細胞性骨溶解の形態学的検討, 平成12年新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 2000-11-11, 同学会プログラム: 26, 2000.
- 32) 関本智信, 荒井良明, 河野正司, 澤田宏二, 平野秀利, 山田一穂, 小笠原正卓: 咬合負荷による犬歯の脈動の変化について, 第104日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2000-11-10, 補綴誌44(104回特別号) 79, 2000.
- 33) 湊 修, 河野正司, 飛田 滋: 下顎片側遊離端義歯における浮き上がり時の回転軸と鉤間線の関係, 第104回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2000-11-11, 補綴誌44(104回特別号) 123, 2000.
- 34) MD M Rahman, Kohno S, Sawada K, Arai Y, Medina R U, Okayasu I, Kobayashi H: Influence of tapping performances on the location of muscular position, 48th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Matsudo, Chiba, 2000-12-2, Program and abstracts of papers: 96, 2000.
- 35) Gapido C, Kobayashi H, Nakano S, Okawa S, Miyakawa O, Kohno S: Fatigue strength of RPD occlusal rest using Au-Ag-Pd-Cu alloy, 48th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Matsudo, Chiba, 2000-12-3, Program and abstracts of papers: 129, 2000.
- 36) 木内延年, 河野正司, 池田圭介, 道見 登, 植田耕一郎: 摂食嚥下障害者の舌運動評価を目的としたパラトグラム法導入の試み, 日本顎口腔機能学会 第23回学術大会, 岐阜, 2001-1-27, 同学会抄録集: 8-9, 2001.
- 37) 武正道代, 河野正司, 荒井良明, 澤田宏二, 小笠原正卓, 石田陽子: 食物の大きさが開口量と頭部運動量に与える影響, 日本顎口腔機能学会 第23回学術大会, 岐阜, 2001-1-27, 同学会抄録集: 14-15, 2001.

【研究会発表】

1) 荒井良明, 河野正司: 新潟大学歯学部における顎運動測定について, 第9回顎運動測定器 MM-J1-E ユーザーズクラブ研究会, 2000-9-5, 2000.

【特別講義・講演会・セミナー】

1) 加藤一誠: 有床義歯臨床における適切なカルテの記載, 平成12年度歯科臨床研修医初期講習, 新潟大学歯学部, 2000-5-18, 2000

2) 河野正司: 咬合のトピックス 特に歯のガイドについて, 昭和大学歯学部歯周治療学教室同門会総会, 東京, 2000-6-24, 2000.

3) 河野正司: 補綴治療と歯周管理, ハルピン医科大学口腔医学院 特別講義, ハルピン市, 2000-7-29, 2000.

4) 野村章子: 唾液分泌機能と有床義歯補綴治療, 平成12年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2000-7-5, 2000.

5) 櫻井直樹: 顎機能を考慮した包括的歯科治療, 新潟大学歯学部同窓会新潟県支部 平成12年度定期セミナー, 新潟大学歯学部, 2000-9-30, 2000.

6) 櫻井直樹: 有床義歯補綴治療における前処置の考え方, 平成12年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2000-10-11, 2000.

7) 河野正司: 臨床家のための咬合と顎関節症, 新潟県歯科医学大会, 長岡市, 2000-11-18, 2000.

8) 岩片信吾: 全部床義歯の印象採得の基本, 平成12年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2001-1-17, 2001.

【ビデオテープ製作】

河野正司: 開業医で行う顎関節症のスプリント療法(ビデオテープ), 日本歯科医師会生涯研修ライブラリー, 2000.

歯科補綴学第二講座

【学会発表】

1) Ioana, B., Watanabe, K., Kusakari, H., Miyakawa, O.: Internal Porosity of Cast Titanium Removable Partial Denture: Influence of Sprue Direction on Porosity in Clasps: 第33回新潟歯学会総会, 新潟, 2000-4-15, 新潟歯学会雑誌30(1) 106, 2000.

2) 奥田 一博, 野村 隆, 石井 礼仁, 清水 光, 田口 直幸, 草刈 玄, 原 耕二, 吉江 弘正: 植立後のインプラント周囲滲出液におけるTIMP-1, MMP-1, -8 レベルおよびコラゲナーゼ活性の変動, 第33回新潟歯学会総会, 新潟, 2000-4-15, 新潟歯学会雑誌30(1):105, 2000.

3) Suzuki, T., Kato, T., Ito, N., Kusakari, H.: Application

of Prototype CrTmEr: YAG Laser to cavity preparation-An in vitro Study in Bovine Teeth: International Congress on Lasers in Dentistry, Brussels, July 30-August 1, 2000.

4) 藤井 規孝, 田口 直幸, 鈴木 健史, 小林 富貴子: Socket liftを行いインプラントを埋入した一例 CTによる術前, 術後の比較, 日本補綴歯科学会関東支部総会, 新潟, 2000-9-10, 同学術大会抄録集, 2000.

5) 渡辺 孝一, 大川 成剛, 金谷 貢, 中野 周二, 宮川 修, 橋本 明彦, 小林 正義: 金属アレルギー診断のための口腔内金属迅速分析法, 第36回歯科理工学会, 岡山, 歯科材料・器械vol.19, 2000-10-14.

6) Kitamura, E., Stegaroiu, R., Sato, T., Taguchi, N., Miyakawa, O.: Influence of Marginal Bone Resorption on Stress in Implant and Bone-A Three Dimensional Finite Element Analysis: ITI World Symposium 2000, Luzern, October 19-21, 2000.

7) Stegaroiu, R., Taguchi, N., Miyakawa, O.: Stress Analysis of Bone and Implants Replacing Single Molars: ITI World Symposium 2000, Luzern, October 19-21, 2000

8) 北村 絵里子, ステガロユ・ロクサーナ, 佐藤 孝弘, 田口 直幸, 宮川 修: 頸部骨吸収がインプラントおよび周囲骨に与える力学的影響 三次元有限要素法による応力分布解析, 第104回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2000-11-10, 11, 同学術大会抄録集44巻, 104回特別号, 2000.

9) 木暮 城二, 橋本 明彦, 小林 康子, 伊東 直子, 田口 直幸: 掌蹠膿疱症の歯科的病因に関する検討 アレルゲン金属の除去と病巣治療の効果, 第104回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2000-11-10, 11, 同学術大会抄録集44巻, 104回特別号, 2000.

10) Khraisat, A., Stegaroiu, R., Taguchi, N., Okawa, S., Nakano, S., Kobayashi, M., Miyakawa, O.: Two Implant/Abutment Joint Designs Under Cyclic Loading: 30th Annual Meeting of the AADR, Chicago, March 7-10, 2001, Journal of Dental Research Vol.80, 2001.

11) Ioana, B., Watanabe, K., Nakano, S., Hashimoto, A., Miyakawa, O.: Internal Porosity of Cast Titanium Removable Partial Dentures-Influence of Sprue Design on Porosity in Clasps: 第37回歯科理工学会, 東京, 2000-3-31, 4-1, 歯科材料・器械vol.20, 2001.

【論文】

1) 橋本 明彦, 草刈 玄, 木暮 城二, 小林 康子, 佐々木太郎: 純チタン鑄造体の異種合金接触時におけるイオン化の可能性, 日本補綴歯科学会雑誌44(2):198-